

18
FOR ADU

ユリカゴ

©BF Fanbook kakuriyo/Aglovale



幽世の鍵…

これが…



こいつに
魔力を
供給してゆけば…

絶大なる力が
与えられるだろう



完成の目処は
あるのか？

そうだな…



わぬしらの
時間で見ても…

およそ50年と
いったとこか

な…!?



お前の父は
年老いていたからな

この方法は
使えなかった

な...

若い命を
たっぷり与えてやれ

んっ!

...!?



…っ

黙って
体を預けると…!?

そうだ

やめろ

こいつに
傷つける意思はない

く…
はなせ…



…黙るよりは
鳴いた方が
好いかもしれんがな

…どこを
触って…!!

あ…



た...
耐えられぬ



こんな...
わけの分からぬ
化物に

あ...あ
あ...

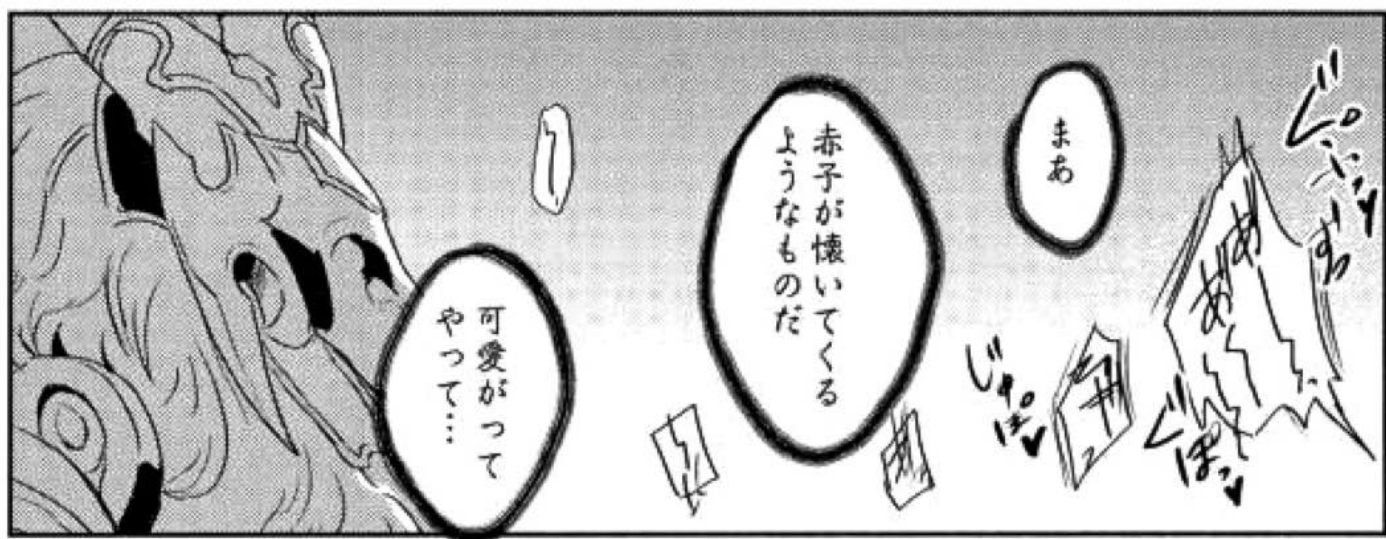


!?
ま
ま

もう
終わっ...

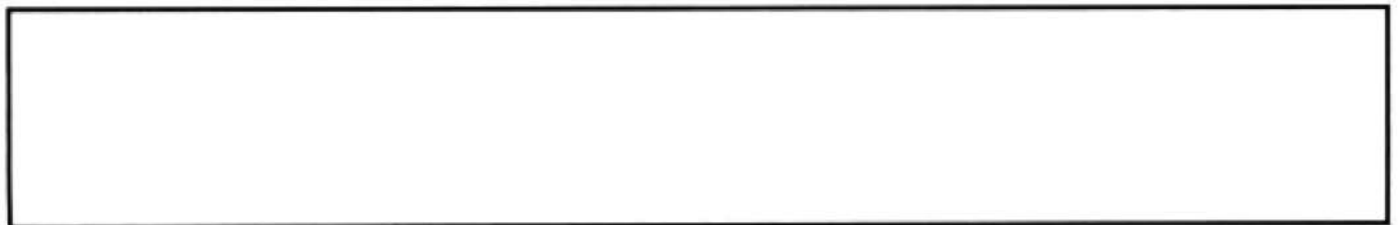


は...

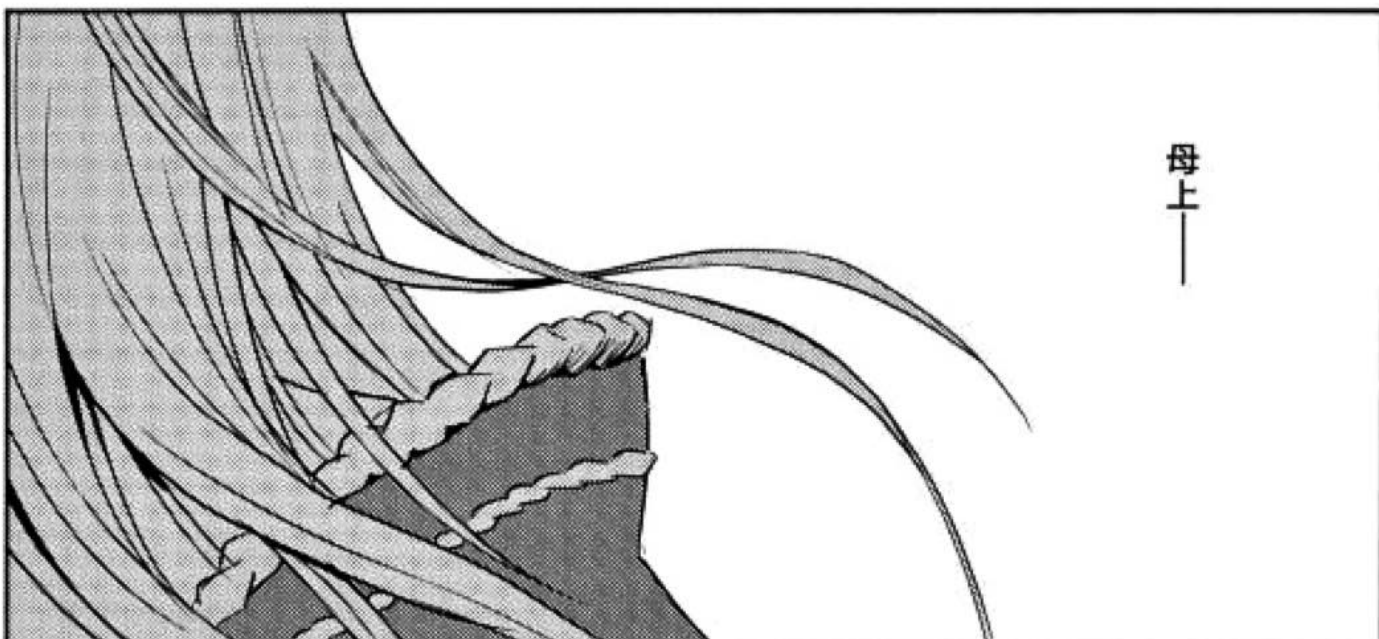




やはり
ヒトは脆いな



母上——

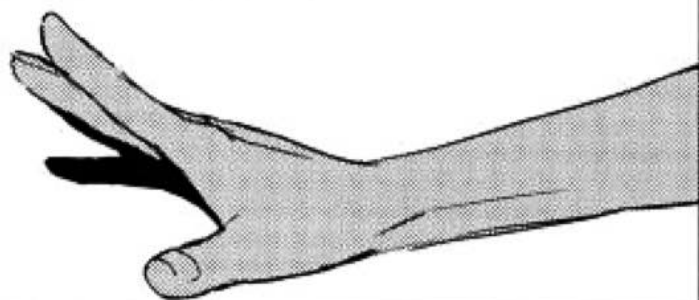


いかないで——

我らを置いて
逝かないで——



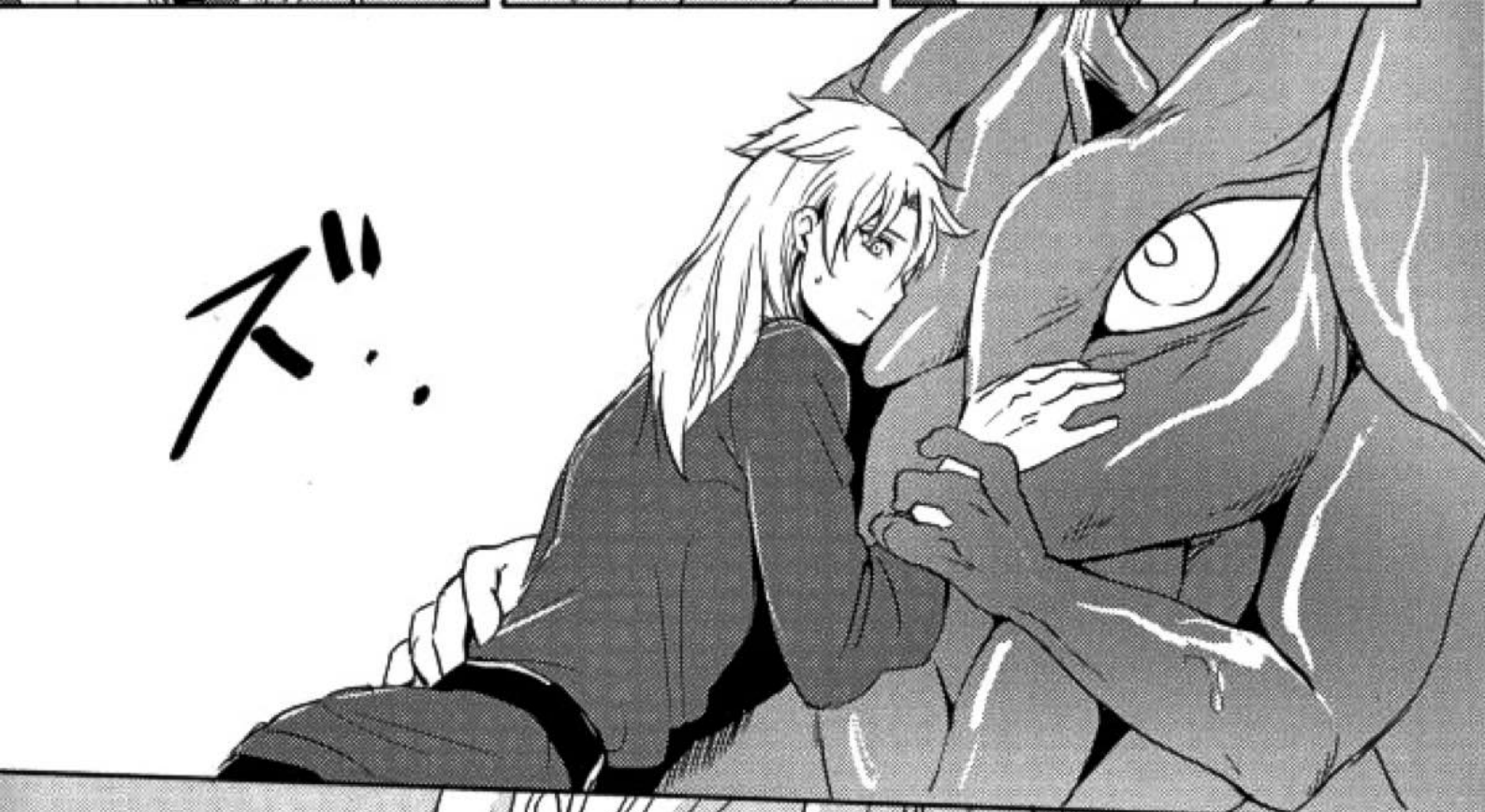
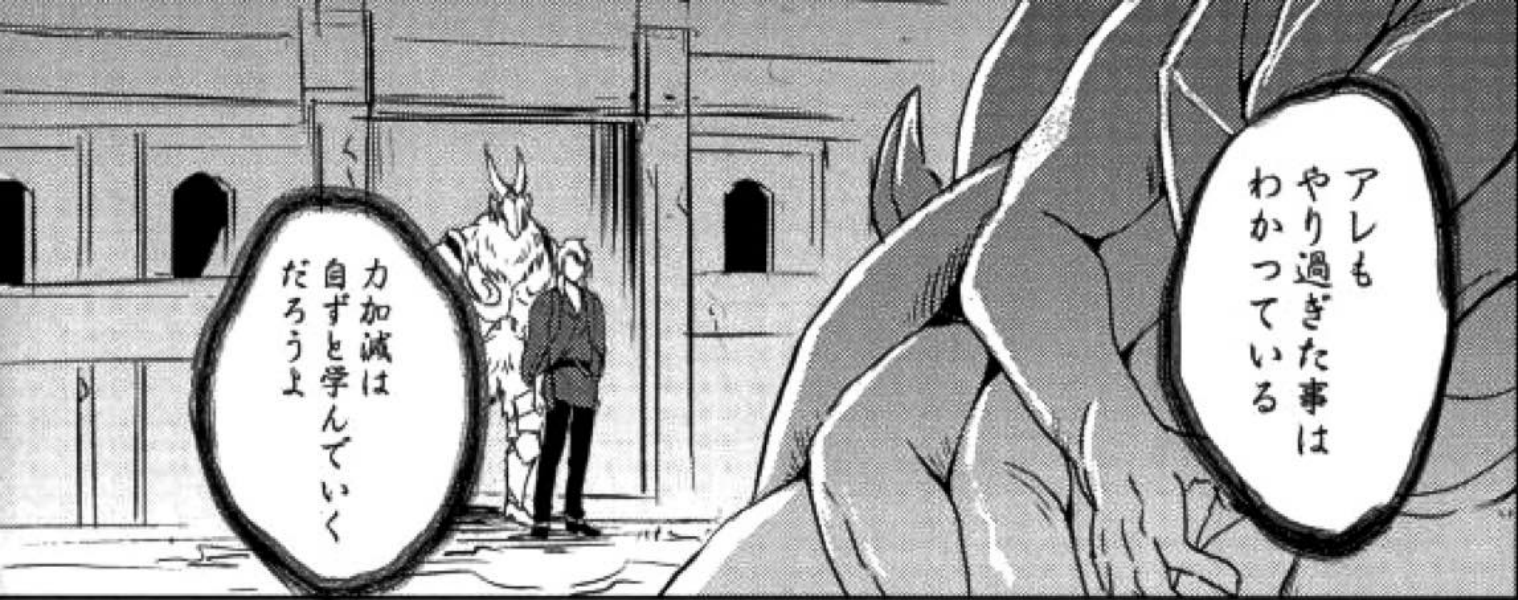
サミシイ



——サミシイ









我は

一体何をしているのか



堕ちていっけー

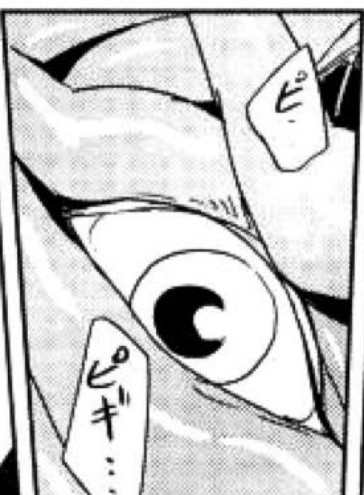
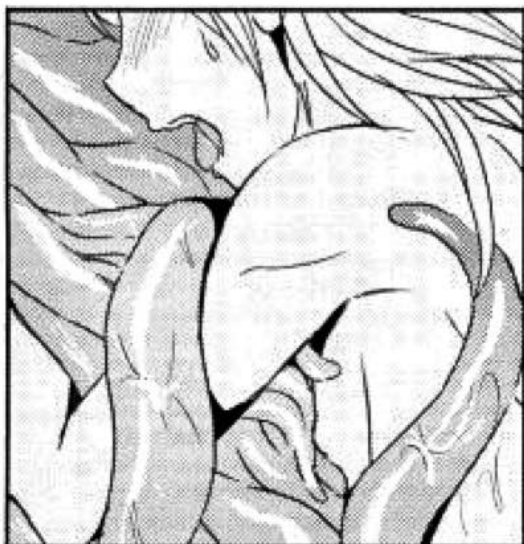


アグロヴァル様が
領主になられて以来の
手腕見事なものです

いや
先日の商談は
助かりました

アグロヴァル様











よく育っている

竜脈の力と
合わせれば
完成はもうすぐだ

ふ…

自分の身を捧げる事で
望みへ近づくとはな…

だが…



己の魔力と体力の
限界がうらめしい

我は覚えているぞ

あの時…

お前から強い魔力を
注がれ蘇ったのを



アレを
今一度…

そう

お前と交わる事で
手に入らぬのか…？

戯れだな…

…





フフ..
おっおい

何を...



おいっ
今日はもう
出ないと

おやおや

主人を取られて
嫉妬したようだ

モゴ

モゴ



あ……あ……

ズッ

びび

びび

びび

だ……
ダメだ……
今は……

今……
挿れた……
!



トッ

びび



ズッ

それいつもより
大き……

モ..

待てっ



う……

びび







達したそばから
次の精が作られ…

キョッ

アッ

アッ

アッ

このままでは
無限に…



アッ

ハッ



も…も…

あ



アッ

あ



ほ

ハッ



なん…だ…？
聞こえる…

あ…



安心しろ…
もう離れはせん…

お前も我と
同じか…

そう…か…

わかった…



母上…

我はもう寂しくは
ありません…



ああ…

あとは手苦さえ
踏めば

ほほ
力は満ちたな…



目覚めの時は
近い...



フフ...

お前にも
早く見せて
やりたいな...

ビ...ギ...

なあに...
可愛い
我が弟たちだ...

きっと気に入って
くれるだろうよ...

